

形成外科

主な対象疾患

形成外科は、外科の一分野ですが、特に先天性および後天性の身体外表の形、色の変化などの醜状を対象として、外科手技により形態解剖学的に正常にします。

外傷：顔面骨骨折（頬骨、下顎骨、上顎骨、鼻骨、眼窩底骨折、これら多発骨折）、顔面、その他全身の部位の軟部組織損傷、手指切断、骨、腱、神経損傷など

先天奇形：口唇裂、口蓋裂、その他顔面裂、手指奇形（多指症、多趾症、合指症、合趾症、裂手症、裂足症、絞扼輪症候群）など

腫瘍：良性、悪性皮膚皮下腫瘍およびそれによる組織欠損の再建、乳がん術後の乳房欠損、変形に対する乳房再建（自家組織や人工乳房）など

その他：眼瞼下垂、陥入爪、腋臭症、褥瘡、難治性潰瘍、老人性皮膚弛緩症など

診療科の特徴

水戸以北で唯一形成外科を常勤として標榜し、県内では少ない日本形成外科学会認定施設となっています。顔面や手足の外傷、先天性外表奇形、腫瘍摘出およびその再建など形成外科全般の診療を行っております。基本的には健康保険での診療となります。

外傷は、交通事故や仕事上の事故などによる顔面骨骨折、手指切断、全身の軟部組織損傷の再建からその後に発生する神経障害、瘢痕拘縮まで、長期にわたり様子を観察し必要に応じて加療しています。

我々は先天性外表奇形（多合指症、口唇口蓋裂、耳介変形、臍ヘルニアなど）を主に専門とし、特に口唇口蓋裂に関しては、昭和大学口唇口蓋裂センターの方針に則して患者さんの成長に伴い手術、言語治療を行っています。また、矯正歯科治療の指導などを含め、長期的に治療を続けています。

皮膚腫瘍（黒子や粉瘤など）は特に顔面など傷跡が気になる部位においても、できるだけ傷跡が目立たぬように最良の方法で治療にあたります。

乳癌による乳房欠損に対し自家組織、また、組織拡張器や人工乳房による乳房再建。頭頸部癌摘出手術後の再建など外科や耳鼻咽喉科、整形外科、脳神経外科など他科との協力により手術をすすめています。

また、高齢化による眼瞼下垂にて視界制限に対しても対応しております。

メッセージ

形成外科外来は、基本的に予約や紹介状がなくても受診が可能です。

しかし、当院は、地域医療支援病院のため紹介状がない場合は、5,500円の選定療養費がかかることがあります。

外来は、火曜日は手術日のため休診となります。診療受付時間は、月曜日は8:00～11:00・12:00～14:00、水～金曜日は12:00～14:00です。

紹介状がある場合は、地域医療連携室にご連絡いただき、ご予約いただいた方が診察がスムーズです。

主任医長
宇佐美 泰徳

診療実績

外来：2021年の形成外科新患数は394名です。

主に良性皮膚腫瘍摘出術です。

入院：熱傷や顔面外傷（骨折など）、先天異常や各種再建手術は入院手術となることが多いです。

■各分野の手術件数

手術内容区分	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
外傷	183	163	143	170	140
先天異常	22	25	32	21	21
腫瘍	155	160	180	138	200
瘢痕、ケロイド	25	13	11	12	12
難治性潰瘍	10	12	13	13	10
炎症変性疾患	19	16	14	13	17
美容	0	0	1	0	0
その他	10	12	10	6	10
合計	424	401	404	373	410

医師紹介

主任医長 宇佐美 泰徳（うさみ やすのり）

1984年昭和大学（大学院卒）卒

医学博士

日本形成外科学会指導医、評議員

皮膚腫瘍外科、小児形成外科指導医、

再建マイクロサージャリー指導医、

日本乳房オンコプラスチックサージャリー

学会認定医

日本創傷外科学会専門医

医員 江川 智昭（えがわ ともあき）

2012年 聖マリアンナ医科大学卒

医学博士

日本形成外科学会専門医、

日本乳房オンコプラスチックサージャリー

学会認定医

◆お問い合わせ◆

(株)日立製作所日立総合病院

地域医療連携室

〒317-0077 茨城県日立市城南町二丁目1番1号

TEL: 0294-23-8343

FAX: 0294-23-8412